

教職員の皆様へ

学校は、子どもたちが安心して学び、成長できる場所です。しかし、現実には、いじめや暴力が子どもたちの心身に深刻な影響を与え、学びの場を脅かす事案が後を絶ちません。こうした状況を決して看過せず、学校全体で取り組む姿勢が求められています。

いじめや暴力を「絶対に許さない」という強い意志を、学校の文化として根付かせること。そのためには、教職員一人ひとりが次の点を心に刻み、日々の教育活動に反映させることが重要です。

1 子どもの声に耳を傾ける

小さな変化やサインを見逃さず、子どもの言葉や態度に真摯に向き合いましょう。

「話してよかったです」と思える信頼関係を築くことが、早期発見・早期対応の鍵です。

2 チームで対応する

いじめや暴力は、個人で抱え込む問題ではありません。

学年・学部・学校・教育委員会と連携し、情報共有と迅速な対応を徹底してください。

3 未然防止の取組を強化する

学級経営や人間関係づくりを重視し、互いを尊重する風土を育てましょう。

ICTの活用やアンケート調査などにより、未然防止の取組をお願いします。

4 SNS・情報モラル教育を徹底する

インターネット上の誹謗中傷や不適切な投稿は、現実世界のいじめと同様に重大な問題です。

子どもたちに「発信する責任」「相手を傷つけない配慮」「個人情報の保護」を指導してください。

教員自身も情報モラルを守り、SNS利用において公私の区別を徹底しましょう。

私たちの使命は、すべての子どもが「ここにいてよかったです」と感じる学校をつくることです。そのためには、皆様の専門性と情熱を結集し、いじめや暴力のない学校づくりをともに進めていきましょう。

令和8年1月22日
栃木県教育委員会教育長 中村 千浩